

「自己改革取組宣言」

第2次中期3か年経営計画実現に向けての方向性

第2次中期3か年経営計画の基本方針

新たな時代に向けたJAの挑戦 ～自己改革のさらなる実践～

JAの使命は、農業者の所得増大と農業生産の拡大、多様化した組合員の生活ニーズへの対応及び地域社会への貢献です。

しかし、わが国全体として人口の減少や超高齢化社会を迎え、農業生産基盤が急速に脆弱化するなど、地域の農業や社会は急速に姿を変え、地域社会・経済の疲弊とともに人と人とのつながりの組織であるJAの組織基盤が弱体化するなか、JAグループは今、3つの危機（「農業・農村の危機」「組織・事業・経営の危機」「協同組合の危機」）に直面しています。

JAが今後も使命を果たし、農家・組合員に必要とされる組織であり続けるためには、その時代の農業・農家・地域が抱える諸問題や社会・経済環境の変化に機敏かつ的確に対応する必要があります。

以上から第2次中期経営計画では、新たな時代に向けたJAの挑戦をめざして、①農業者の所得増大②農業生産の拡大③地域の活性化の実現に向けて、協同組合原則に基づく確実な「JA自己改革」を実践してまいります。また、自らも更なる経営の健全性の向上に取り組むとともに、組織を支える人づくりに取り組みます。

基本方針に基づき、基本目標を設定します。

★ 第2次中期3か年経営計画の基本目標

第1柱. 農業者の所得増大・農業生産の拡大へのさらなる挑戦

『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』を最重点目標と位置づけ、地域農業が維持・発展する姿の実現をめざします。また、担い手の多様なニーズに対応する事業を展開し、農業生産の拡大を支援するとともに、消費者・実需者ニーズに応えることで農業者の所得増大を図ります。

第2柱. 地域の活性化への貢献と組合員組織の強化

組合員のニーズに応える総合事業の展開と、組合活動の更なる展開により、『地域の活性化』をめざします。JAが『地域の活性化』に貢献することで、農家・組合員にとって必要とされ続ける組織となることをめざします。

第3柱. 持続可能なJA経営基盤の確立・強化

組合員・利用者の信頼性の向上を図り、農家組合員の営農と生活をささえるために、全ての事業の効率化・生産性向上などをすすめ、地域農業の振興を将来にわたって担い続けるための安定的な経営基盤の確立を進めてまいります。